

令和2年度 事業報告

1) 登録者：令和2年度は61名の純増があったので、合計は18,259名である。

(資料1枚目参照)

《純増の内訳》

一般	13名	長崎中央LC	1名	長崎オリオンLC	1名	
諫早LC	9名	諫早セントリオンLC	2名	諫早中央LC	11名	
大村中央LC	3名	おおむら桜LC	2名	島原LC	16名	
口加LC	1名	波佐見LC	1名	佐世保中央LC	1名	
					合計	61名

2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。(令和3年3月31日現在)

(資料1枚目参照)

献眼者数	30名
摘出角膜数	59眼 (1名は片眼のみ摘出)
移植利用角膜数	42眼 (12眼は、昨年度以前の保存眼を使用)
保存眼数 (表層移植用)	18眼

※13眼は感染症検査陽性等で利用不可のため廃棄処分にした

(うち2眼は、昨年度以前の保存眼を廃棄)

(2) 長崎県の角膜移植待機患者数 (令和3年3月31日現在)

長崎大学病院	127名	長崎医療センター	0名
佐世保市総合医療センター	0名		

計127名

【参考】角膜移植待機患者人数 (過去15年分)

平成18年度末：25人	平成19年度末：24人	平成20年度末：21人
平成21年度末：17人	平成22年度末：17人	平成23年度末：19人
平成24年度末：33人	平成25年度末：51人	平成26年度末：61人
平成27年度末：73人	平成28年度末：95人	平成29年度末：93人
平成30年度末：91人	令和元年度末：109人	令和2年度末：127人

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ2眼の角膜をあっせんした。

福岡県メディカルセンターアイバンク	1眼
佐賀県アイバンク協会	1眼

4) 会議・セミナー

(1)第 18 回理事会（書面による決議の省略） 令和 2 年 5 月 19 日

内容：令和元年度事業報告・収支決算の承認
献眼等推進委員の選任

(2)第 9 回評議員会（書面による決議の省略） 令和 2 年 6 月 30 日

内容：令和元年度事業報告・収支決算の承認
理事、評議員の選任

(3)第 19 回理事会（書面による決議の省略） 令和 2 年 6 月 30 日

内容：理事長および業務執行理事の選任

(4)第 42 回 九州各県アイバンク連絡協議会

令和 2 年 9 月 25 日 オンライン（浜崎）

(5)第 37 回 全国アイバンク連絡協議会

令和 2 年 11 月 28 日 オンライン（浜崎）

(6)第 20 回理事会（書面による決議の省略） 令和 3 年 3 月 26 日

内容：令和 3 年度事業計画・収支予算の承認

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は 30 名である。

6) 賛助会員について（令和 3 年 3 月 31 日現在）

・個人：4 名（新規 1 名） ・団体、法人：20 か所（新規 2 か所）

7) 普及啓発活動等

(1)目の愛護デー無料検診

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の流行に鑑み、検診は行わず長崎アイバンクに登録した対象者へ、検診中止の旨と長崎アイバンクの現状を文書にして送付した。

8) その他報告

(1)令和 2 年 11 月 1 日

西諫早団地第一公園にて第 7 回顕彰祭が開催され、理事長 北岡隆が出席した。

(2)令和 2 年 12 月 17 日

長崎新聞文化ホールにて長崎北ライオンズクラブ忘年例会が開催され、業務執行理事 上松聖典が出席し、長崎アイバンクへの寄附金を受けた。